

## 第三期中期目標を作成する際に踏まえるべき視点（案）

### 1. 構成（案）

- I 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織
- II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
  - 第1 教育に関する目標 . . . . . ①
  - 第2 研究に関する目標 . . . . . ②
  - 第3 社会貢献等に関する目標 . . . . . ③
  - 第4 国際交流に関する目標 . . . . . ④
  - 第5 附属病院に関する目標 . . . . . ⑤
- III 業務運営の改善及び効率化に関する目標 . . . . . ⑥
- IV 財務内容の改善に関する目標 . . . . . ⑦
- V 自己点検・評価、情報の提供等に関する目標 . . . . . ⑧
- VI その他業務運営に関する重要目標 . . . . . ⑨

### 2. 踏まえるべき視点

- 第三期中期目標素案の趣旨を踏まえる
- 文系学部のあり方や教育実施体制の全学化の推進など、今後の大学のあり方やそれに基づく教育実施体制についても、大学の強み・特色や社会的な役割なども踏まえて、継続的に検証・検討を行い、改善を図る（該当項目①）
- 医学部・薬学部・看護学部の医療系三学部を有する特色を活かしながら基礎自然科学分野を強化するため、大学院教育を行っているシステム自然科学研究科の下に新学部を設置し、学部から大学院までの一貫した教育を実施する（該当項目①）
- 国の入試制度改革などを踏まえた入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）などを全学的に点検し、必要に応じて随時見直しするとともに、多様で優秀な学生を確保することのできる入学者選抜を実施する（該当項目①）
- 多様な学生への支援を引き続き実施し、とりわけ留学生の受け入れ体制を強化するとともに経済的な支援を必要とする学生への支援の更なる強化に努める（該当項目①④）
- 男女平等参画の推進に係る市の施策へ貢献するとともに、女性の活躍推

進のため、学生のキャリア支援や教職員が働く職場環境の向上に関する取り組みを強化する（該当項目①③⑨）

- 世界をリードする大学へ発展するために、他の研究領域との連携を強化するとともに、外部資金のさらなる獲得に向けた体制の強化を図る（該当項目②⑦）
- 地域や行政が抱える課題の解決に寄与するため、シンクタンク機能の強化を図り、また、地域の中核的な医療機関として他の医療機関との連携を強化するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた課題の解決についても積極的に貢献する（該当項目③⑤）
- 知の拠点として地域の方々の期待に応えるために、公開講座を開催するなど、生涯教育の推進に積極的に寄与する（該当項目③）
- グローバル化が進展する中で大学の国際化について積極的に取り組むとともに、名古屋圏の国際化についても積極的に寄与する（該当項目④）
- 市民から市立大学を中心とした地域への高度医療の提供に対する期待が高いこと、また国の医療制度改革についても対応する必要があることから、附属病院においては、引き続き教育研究機能を追求しつつ、継続的に病院の経営と運営の改善に努める（該当項目⑤）
- 今後の大学運営を担う優秀な固有職員の育成を行うとともに、ガバナンス機能を強化し理事長のリーダーシップが発揮できる組織の運営体制を確立し、教育研究の推進や経営基盤の強化などに努める（該当項目⑥⑦）
- 現在戦略的な広報に努めており、『名古屋市立大学』については一定程度認知されるようになったものの、更なる発展のために、大学の魅力を発信し、ブランド価値を高め知名度の向上に努める（該当項目⑧）
- 今後も、研究活動も含めた倫理規範を遵守するとともに、業務の適切な執行を徹底する（該当項目⑨）